

**「若手ネットワーク担当の推薦のお願い」が支部長・地域支部連合会会長の先生に**

若い先生方が故郷に開業する先輩診療所の見学をしたり、先輩のお世話で地域歯科保健活動の現場を経験する。これを可能にするのも同窓会の大切な仕事です。特に最近の傾向では、母校を卒業しても、身近に相談できる歯科医がおらず、勤務や開業の相談ができる環境にない人が増えてきているようです。若手ネットワーク委員会ではそのような声に応えようと、まず各地域の“若手ネットワーク担当”の先生と一緒に全国レベルで若い先生の声に応えられる体制づくりを始めました。そこで、各地域に“若手ネットワーク担当”の先生のご推薦していただくよう支部長、地域支部連合会会長の先生方にご案内を近々出す予定にあります。具体的には、まず、臨床研修を修了し、出身地あるいは在京とかいろいろな土地で勤務や開業しようとする卒後 10 年前後の若手の先生方に対して、「出身地の情報」、「希望する地域の先生に勤務や開業の相談」、「地域の先生方の紹介」などなどが可能なシステム作りからと考えています。この仕組み作りには、全国の同窓の先生方のご理解と応援が必要です。是非よろしくお願いします。

**島村 大後援会が発足しました**

神奈川県支部連合同窓会では国政選挙に向かったの島村 大先生（昭和 60 年卒）の後援会の発会式を 10 月 6 日（土）に開催しました。矢崎会長・大山顧問・高橋専務出席のもと、神奈川県支部連合会会長で関東地域支部連合会会長、本部地域理事を務めている杉山紀子先生（昭和 54 年卒）の開会の挨拶に始まり、後援会代表の加藤木健先生（昭和 46 年卒）の挨拶とつづきました。島村大先生の熱い将来への構想を聞き、何とかこの熱意を実現させたいと皆さん決意を固めたことと思います。その後選挙プランナーで有名な三浦博史氏による講演があり、質疑では、これからの活動におけるいろいろな注意点についてくわしい説明をいただきました。

**岡野祐三先生からのご案内が同窓会報に同封されます**

国政の話が続きます。現在活躍の川口浩衆議院議員（昭和 54 年卒）、自民党神奈川県参議院選挙区第 3 支部長島村大先生（昭和 60 年卒）、自民党衆議院千葉県第 13 選挙区支部長白須賀貴樹先生（平成 12 年卒）は、まさにこれからの期待される人材として広く注目を浴びておりますが、東京歯科大学の同窓として全国から応援の手を差し伸べていただきたく、本部渉外部委員会の委員長である岡野祐三先生（昭和 48 年卒）が、この度「東歯同窓国会議員・国政選挙区支部長を支える会」を立ち上げました。同窓会報 10 月号には、3 人の先生のプロフィールとともにご支援をお願いするアイボリーの色調の書面を同封しております。是非ご覧いただき、ご協力のほどお願いいたします。

## 全歯懇が開催

10月6日(土)に第59回全国歯科大学同窓・校友会懇話会が当番校日本大学歯学部同窓会により開催されました。全国同窓会へのアンケート調査では、機関誌、会費納入、家族会員、男女の違いによる会費納入や日歯への入会状況の比較などの結果が報告されました。会費徴収率アップへの知恵として、WEBからの入金、自動引き落とし、未納会員の口座引き落とし手続きした際の過去の未納会費の完納扱いなど、興味深い対策がいろいろ紹介されました。また提案としてはJOMNET(Japan Oral Medicine Net Work)、日本大学歯学部がすすめているインターネットを利用して、臨床医が口腔粘膜病変などの診断、治療の方針など相談し、専門家からアドバイスをうけ患者さんへの診察、診療に役立たせたり、そのご紹介したりして、専門性を持つ臨床医として患者さんとの信頼関係を高めてゆくシステムが紹介されました。

## 九州地域支部連合会支部長会

九州の8支部長の先生方との意見交換が10月13日(土)熊本県での九州地域支部連合総会の前に開かれた支部連絡会で行われました。本部より矢崎会長・高橋専務、母校から井出学長、九州地域支部連合会会長で熊本県支部長の緒方進先生、石田雅男先生(福岡県支部長)、副島洋二先生(佐賀県支部長)、立川正明先生(長崎県支部長代理)、吉澤健介先生(大分県支部長)、岩田充了先生(宮崎県副支部長)、内田信友先生(鹿児島県支部長)、新垣元洋先生(沖縄県支部長)が出席されました。本部から会務報告として、評議員会での議題と協議題を中心に説明しご意見をいただきました。当日の協議題として、東日本大震災への義援金について、大学移転に伴う寄付金の各支部の対応について、評議員定数、消費税が上がることについて、TPP参加についてなどが話し合われました。このうち、特に評議員の選出については一県一評議員の経過措置について、九州地域の現状と地域支部の立場としていろいろ意見交換をすることができました。

このあとの九州各県支部総会、懇親会では、緒方支部長ならでの進行と場所設定のご配慮に感銘しました。ありがとうございました。

## 同窓会全国社会保険指導者懇談会開催

10月1日(月)、厚労省・日本歯科医師会が共催致します「社会保険指導者研修会」が日本教育会館(東京)で開かれ、日本全国より社会保険の指導者的立場に歯科医師が集まりました。同窓会におきましては、研修会終了後、同窓会関係の先生方に参集頂き、保険関係の地域の状況等を情報交換する場として、「全国社会保険指導者懇談会」を毎年開催しております。

本年は、全国より70名の先生方にご参集頂きました。また、研修の一環と致しまして、日本歯科医師会のシンクタンク「日本歯科総合研究機構」の主任研究員であります恒石美登里先生に「医療保険における日歯総研の役割と将来展望」と題して、日本歯科医師会の診療報酬改定への取り組み等をお話し頂きました。

(情報ネット推進会議発)



加藤木健後援会代表の挨拶



将来への構想を熱く述べる  
島村大先生



真剣な空気がみなぎる  
三浦博史先生への質問風景



全歯懇でご挨拶をされる  
大久保日歯会長



伊藤智加日本大学歯学部同窓  
会理事によるアンケート報告



全歯懇の会場内風景



左から吉澤支部長、副島支部長、  
立川支部長代理（九州）



左から3人目岩田副支部長、  
その右隣新垣支部長（九州）



左から石田支部長、左3人目内  
田支部長、右2人目緒方支部長



九州の総会で大学現況について語る井出学長



全国社会保険指導者懇談会  
講師の日歯総研主任研究員  
恒石美登里先生



講演を聴く参加者